計量経済 I:復習テスト1

	子耤番号	
	2025年4月8日	
	でべての質問に解答しなければ提出とは認めない.正答に修正した上で,復習テス でホチキス止めし,中間テスト実施日(6 月 10 日の予定)に提出すること.	.ト 1~8 を順に重
	の用語の定義を式または言葉で書きなさい(各 20 字程度). 相関関係	
(b)	因果関係	
(c)	因果効果	
(d) I	EBPM	
(e) ;	対照実験	
(f)	処置効果	
(g)	RCT	

2.	以下の 2 変数の因果関係について、 (1) A が原因で B が結果、 (2) B が原因で A が結果、 (3) どちらとも言える、 (4) どちらとも言えないのどれに該当するか、自分の考えを答えなさい(教科書 $p.~11$ 「確認問題」参照)。 (a) 「 A : 家計の所得」と「 B : 子どもの学力」
	(b) 高校生の「A:クラブ活動への参加」と「B:友達の数」
	(c) 国の「A:所得格差」と「B:経済成長率」
	(d)大学生の「A:喫煙する友人の割合」と「B:自身の喫煙」
	(e) 都市の「A:貧困率」と「B:犯罪発生率」

(f) 都市の「A:犯罪発生率」と「B:1人当たり警官数」

解答例

- 1. (a) 2変数間の直線的な関係.
 - (b) 原因と結果の関係.
 - (c) 原因が結果に与える効果.
 - (d) 科学的な証拠に基づいて政策を決めること.
 - (e) 2つの群の一方に処置(介入)を行い,他方に処置を行わずに効果を比較する実験.
 - (f) 処置群と対照群に対する効果の差.
 - (g) 処置群と対照群を無作為に割り当てる対照実験.
- 2. (a) (4) ※家計の所得が子どもの学力を直接的に高めるわけではない.
 - (b) (3)
 - (c) (4)
 - (d) (3)
 - (e) (3)
 - (f) (3)

解説は教科書のウェブサポートページを参照.